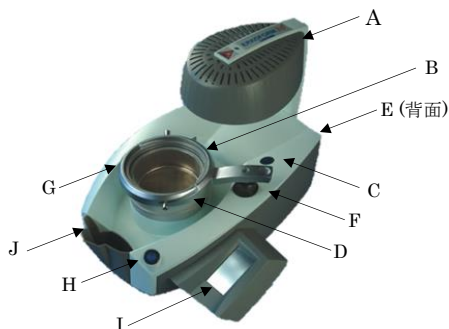


エルコフォーム 3D

【形状、構造及び原理等】

- 1) 形状、構造
・本体



- A カバー付ミディウムウェーブ赤外線ヒーター
B 模型収納ポット(散弾用ポット)
C 温度センサー
D ホイルフレーム及び操作ハンドル
E 電源接続コネクタ
F ホイルフレーム伸縮支柱
G ホイルカバーリング
H メインスイッチ
I 液晶タッチパネル(保護フィルム付)
J 散弾収集箱

- 2) 寸法

(W)350mm×(H)315mm×(D)370mm

- 3) 電氣的定格

電源電圧：100/115V

電源周波数：50/60Hz

消費電力：本体 340W、ヒーター280W

センサー許容感知温度：240℃以下

吸引圧力：0.8bar

【使用目的又は効果】

本品は、熱可塑性材料を加圧によって成型し、義歯床又は補綴物を作製する装置である。

【使用方法等】

※機器の詳細な操作方法は、取扱説明書を参照すること。

<使用前の準備>

- 1) 水のかからない、乾いたほこりのない場所に設置する。
- 2) 電源プラグやコードに損傷がないか確認する。
- 3) 電源プラグをアース付きコンセントに接続する。
- 4) 独立した電源コンセントに接続すること。
- 5) 本体その他に損傷がないか確認する。

<使用中の操作>

- 1) メインスイッチを ON にし、液晶タッチパネルの表示に従って温度センサーに汚れがないかチェックする。
- 2) 液晶タッチパネルの表示に従ってプレートを選択する。
- 3) ホイルフレームを上を引き上げ、後方に時計回りに、止まるまで回転させる。

- 4) ホイルフレームからカバーリングを取り除き、選択されたプレートを置いた後、再びカバーリングを置いて回転させてプレートを締めつけて固定する。
- 5) ホイルフレームのハンドル部を持ち、プレートをヒーターの下まで移動させる。正確な位置まで回転させるとヒーターが作動し加熱を開始する。
- 6) 設定温度の 10℃手前になると自動的に吸引モーターのスイッチが入り、吸引が始まる。設定温度に到達しアラームがなったらホイルフレームのハンドルを持ち、回転させて模型上に移動させそのまま模型に下ろす。
- 7) 液晶タッチパネルに表示された時間が経過するまで冷却を行う。冷却終了後カバーリングを取り除いて模型を取り出す。
- 8) 電源プラグをコンセントから外す。

<使用方法等に関する使用上の注意>

・医用電気機器の使用上(安全及び危険防止)の注意事項

- 1) 熟練した者以外は機器を使用しないこと。
- 2) 機器を設置するときには、次の事項に注意すること。
 - 2)-1 水のかからない場所に設置すること。
 - 2)-2 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。
 - 2)-3 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
 - 2)-4 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
 - 2)-5 電源の周波数と電圧及び許容電流値(又は消費電力)に注意すること。
 - 2)-6 電源の状態(放電状態、極性など)を確認すること。
 - 2)-7 アースを正しく接続すること。
- 3) 機器を使用する前には次の事項に注意すること。
 - 3)-1 スイッチの接触状態、極性、ダイヤル設定、メーター類などの点検を行い、機器が正確に作動することを確認すること。
 - 3)-2 アースが安全に接続されていることを確認すること。
 - 3)-3 すべてのコードの接続が正確でかつ安全であることを確認すること。
 - 3)-4 機器の併用は正確な診断を誤らせたり、危険をおこすおそれがあるので、十分注意すること。
 - 3)-5 電池・電源を確認すること。
- 4) 機器の使用中は次の事項に注意すること。
 - 4)-1 診断・治療・加工に必要な時間・量をこえないように注意すること。
- 5) 機器の使用後は次の事項に注意すること。
 - 5)-1 定められた手順により操作スイッチ、ダイヤルなどを使用前の状態に戻したのち、電源を切ること。
 - 5)-2 コード類のとりはずしに際してはコードをもって引抜くなど無理な力をかけないこと。
 - 5)-3 保管場所については次の事項に注意すること。
 - i 水のかからない場所に保管すること。
 - ii 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
 - iii 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
 - iv 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

- 5)-4 付属品、コード、コネクタなどは清潔にしたのち、整理してまとめておくこと。
 - 5)-5 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清潔にしておくこと。
 - 6) 故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行い、修理は専門家にまかせること。
 - 7) 機器は改造しないこと。
 - 8) 保守点検
 - 8)-1 機器及び部品は必ず定期点検をおこなうこと。
 - 8)-2 しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。
- ・その他の注意事項
- 9) ヒーター及びヒーターカバーには触れないこと。ヒーターカバーは最高 70°C に達する。
 - 10) 常に監視下で作動させること。
 - 11) 本製品の周囲に、可燃性のものを置かないこと。
 - 12) 本来の目的以外の材料は使用しないこと。
 - 13) 本製品に用いるプレートは直径 120mm、厚さ 6mm 以内のサーモフォーミングテクニック（吸引成型）に適した材料を使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

- 1) 室温及び水のかからない乾いた場所に保管すること。
- 2) 長期保管したときは、使用前に始業点検をすること。

【保守・点検に係る事項】

- 1) 清掃
 - 1)-1 清掃、点検及び修理又は移動を行う際には必ず電源を取り外して行うこと。
 - 1)-2 清掃は湿った布を用いて行うこと。
 - 1)-3 溶媒や清掃液は使用しないこと。
- 2) 保守・点検
 - 2)-1 機器及び部品は必ず定期点検を行うこと。
 - 2)-2 暫く使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず装置が正常に且つ、安全に作動することを確認すること。
 - 2)-3 取扱説明書を参照して点検すること。
 - 2)-4 完全な吸引状態を維持するため、ホイルフレーム用及びホームボット用シーリングリングを年に 1 度交換することを推奨する。交換した各シーリングリングは確実に所定の位置に押し込むこと。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〈製造販売業者〉

 **SmartPractice**
株式会社スマートプラクティスジャパン
TEL 0120-415-418

〈製造業者〉

ERKODENT Erich Kopp GmbH
国名：ドイツ